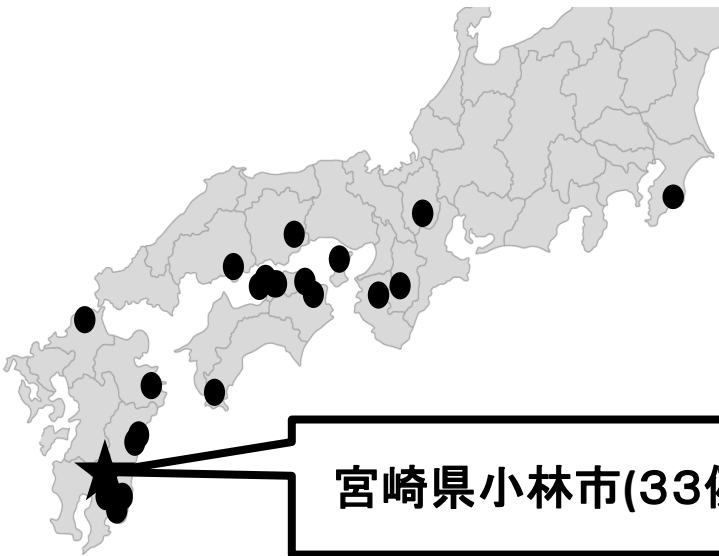


宮崎県小林市の養鶏場で 高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜確認！

12月30日、宮崎県小林市の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザ(HPAI H5亜型)の疑似患畜が確認されました。宮崎県では9例目、国内33例目の発生です。引き続き、野鳥・野生動物侵入防止などの発生予防対策の徹底をお願いします。



宮崎県小林市(33例目)

★33例目

【農場の概要】

- ・農場所在地 宮崎県小林市
- ・飼養状況 肉用鶏 約15.4万羽

【経緯】

- ・12月29日、死亡羽数増加の通報を受け、宮崎県が立入検査を実施。
- ・簡易検査で陽性を確認。
- ・12月30日、遺伝子検査の結果H5亜型であり、HPAI疑似患畜と確認。

▶家きん舎には様々な経路からウイルスが侵入します。今一度、点検・確認と補修をお願いします。

- 防鳥ネットなどによる野鳥やネズミ等の家きん舎への侵入防止
- 農場に入る車両の徹底消毒
- 家きん舎ごとに、専用の長靴や作業服の着用
- 家きん舎に入る人や物品の徹底消毒
- 踏み込み消毒槽は、消毒薬が汚れたら交換



▶毎日、健康観察を行い、異状を発見した時は直ちに当所へ通報を！